

1. 遺跡名 小出川関連河川改修関連遺跡群
(こいでがわ)

2. 遺跡名 七堂伽藍跡 (No.34 遺跡)
(しちどうがらんあと)

3. 所在地 茅ヶ崎市下寺尾

2. 遺跡名 寒川町No.76 遺跡

3. 所在地 寒川町大曲

3. 時 代 弥生・古墳・奈良・平安・中世

4. 調査概要

小出川河川改修関連遺跡群では、平成 13～15 年度にわたって調査をしてきました。

これまで古墳時代後期～奈良・平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡、弥生時代や奈良・平安時代の川の跡、弥生時代の竪穴住居や方形周溝墓等を検出しています。

特に、奈良・平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡は、近くにある古代寺院跡である七堂伽藍跡(下寺尾廃寺)との関連を考える上で重要なものとなりました。

現在は、JR 相模線に沿った土地が少し高くなった部分と、小出川に沿った低地部分を調査中です。

JR 相模線に沿った調査区では、奈良・平安時代の集落跡を、また低地部分ではその頃の川の跡を調査をしています。

集落跡では、12 軒の竪穴住居跡を検出し、川の跡からは、呪(まじな)いに使われた人形(ひとがた)をはじめとする木製品が出土しています。





呪(まじな)いに使われた人形



竪穴住居跡から出土した小型壺(こがたつぼ)